

未来 ひだか

みらくる

日高農業改良普及センター



令和3年11月 藤沢亮輔氏を講師に研修会を開催



活動への挑戦を成長に！日高女性軽種馬ネットワーク

日高女性軽種馬ネットワーク（通称：馬女ネット）は、日高管内の軽種馬産業に携わる女性が自ら経営と社会参画に取り組み、活動を通して軽種馬振興へ寄与することを目的に、平成21年に結成されました。現在18名の会員で、年3回程度、研修会を開催しています。

令和3年11月9日、コンサイナー業※を営む新ひだか町の藤沢亮輔氏を講師に、飼養管理や馬への接し方を学びました。令和4年1月24日には定期総会・研修会を開催。渋谷真美会長から、「コロナ対策を充分に行った上で、なんとか総会・研修会を開催できました。挑戦は成長に変わると信じています。」との挨拶がありました。総会後の研修会では、講師に映像プロデューサー美野真一氏を招き、「種牡馬の特徴と性格について」と題し、種牡馬の映像制作での多彩な知見から種牡馬選びのヒントとなる情報を得ました。活動をとおして軽種馬振興へ寄与しています。

馬女ネットは新規会員を募集中です。活動に興味のある方は普及センターまでご連絡を！

※コンサイナー業：市場上場前の馬を預かり、生産者に代わってセリに向けて準備を行う業務のこと



令和4年1月の総会で議事を進める渋谷会長



総会后、研修会で動画により説明する美野講師

地域の話題・活動事例を紹介します！

コロナ禍でも情報共有の場は大切に！

【本所 地域第1係】

地域第一係では、重点地区である「静内東別3農事組合」や新冠町の新規参入者などに対して各種研修会を開催し、個別巡回指導や調査から得られた栽培管理改善点などを整理し、情報提供しました。

重点地区の現地研修会では、作物の根張り確認や越冬緑肥について、懇談会では、高温年だった令和3年度の振り返りと栽培管理改善について、普及センターから情報を提供しました。その後、農業者間での活発な意見交換が行われ、交流の良い機会となりました。新規参入者に対しては、あらかじめ研修内容について要望を聞き取り、町・JAと連携して、就農後に栽培する作物の基礎や、資金・経営について研修会を実施しました。

いずれの研修会でも、参加できなかった農業者等に対しては、個別巡回により研修内容や他農業者からの意見を伝えてサポートし、技術資料による情報提供も併せて実施しました。農業者からは「コロナ禍で近所でも行き来することを控えていたので、情報共有できてよかった。」という声が聞かれました。今後も感染状況を確認しつつ、農業者に有益な情報共有の場を設けられるように、関係機関と連携して活動を進めます。



越冬緑肥の生育状況を確認



すき込み前の緑肥を農業者と調査



新規参入者への研修

子牛の飼養管理改善

【本所 地域第2係】

日高東部地域において繁殖雌牛は、計画的に更新され若返りが図られていますが、審査得点（体格審査）が低いことが課題です。そこで、発育に大きく関わる出生～離乳まで体測（浦河町6戸10頭）を行い、飼養管理のポイントをまとめました。

全ての農業者が分娩前の増飼いを行っているため、生まれおちは標準以上でした。発育は、3パターンに分かれました（図参照）。発育の停滞要因は、以下の3点であり、ストレスの度合いにより、停滞期間の長さが変わりました。

i	7～10日齢	個体管理から群管理への環境変化による下痢
ii	1ヶ月齢以降	エネルギー不足（乳・スターター摂取量の不足）
iii	離乳時期	飼料切り替え時のストレス

飼養管理のポイントをまとめた資料を用いて、農業者・関係機関と情報共有し改善に向け支援しました。農業者への情報提供をつづけ、地域の畜産振興に向けた取り組みを行っていきます。



体測の様子

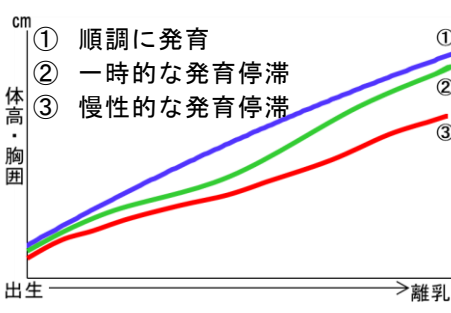


図1 離乳までの発育パターンイメージ



石灰塗布（下痢対策）

地域の話題・活動事例を紹介します！

重点地区冬期研修会（ハイブリッド開催！）

【西部支所】

令和4年3月9日に、日高西部支所重点地区（平取町紫雲古津地区8戸）冬期研修会を開催しました。開催に当たっては新型コロナウイルス感染防止を考慮して、集合とzoomによるリモートを組み合わせて開催しました。リモートに不慣れな農業者に対しても、事前に操作を確認しながら進めました。

紫雲古津地区は、施設園芸と水稻の複合地帯で、施設園芸のメインであるトマトは地区全体の収量底上げが課題であり、水稻は施設園芸との作業競合の回避が求められていました。普及センターからは、ハウスの環境モニタリング（みどりクラウド）と生育調査によるトマトの摘葉方法、土壌調査（硬度・断面）結果と緑肥栽培による土壌物理性改善の取組を説明しました。また、水稻については、高密度播種栽培、自動給水装置などの省力化技術導入について説明しました。農業者からは、集合、リモート参加者とも積極的な質問や意見が出され、関心の高さが伺えました。

農業者から出された意見をもとに、これからも合意をはかりながら、地域のために活動を進めます



冬期研修会の様子



環境モニタリング



平取町紫雲古津地区（上空写真）

指導農業士・農業士会研修会・総会を開催

【広域班】

令和4年1月21日、日高管内指導農業士・農業士会研修会・総会が、新ひだか町コミュニティセンターで開催されました。

研修会では新ひだか町三石で野菜・花きを生産する幌村建設（株）の幌村司社長から、農業へ参入した経緯、GAPの取り組み、アスパラガスの差別化販売（4Lサイズ出荷）などをお話し頂きました。その後、渡邊邦衡（くにひら）指導農業士から研修活動や、新規参入者への支援などの活動報告が行われました。

総会では渡邊隆会長から「今後も指導農業士・農業士として地域農業振興に協力願いたい。」との話がありました。



講演を行う幌村社長



渡邊指導農業士から会の活動報告



総会で挨拶する渡辺会長

令和3年度 指導農業士3名が新たに認定！

令和3年度、日高管内から新たに3名の方が北海道指導農業士に認定され、3月22日に北村振興局長から称号証が贈呈されました。

北海道指導農業士

- 小池 孝義 氏（新ひだか町 酪農）
- 片岡 博 氏（新ひだか町 肉牛・軽種馬）
- 浦東 朝和 氏（新ひだか町 花き・水稻）



北海道指導農業士称号贈呈式
前列左より小池氏・北村振興局長・片岡氏・浦東氏

JA門別「馬舞米（うまいべ）」新米試食会～北海道庁地下食堂にて初の試み～

日高管内地域ブランド米「馬舞米」について、北海道庁地下食堂（札幌市）で試食会（令和3年12月17日）を開催しました。JA門別産米は、「ゆめぴりか」コンテスト（R2最高金賞）や北海道優良米生産出荷共励会（R2最優秀賞（個人））の受賞など高い評価を得ているお米です。この試食会で、より多くの皆様に「馬舞米」のを知ってもらうこと、次世代の農業者が美味しいお米を生産していることを肌で感じてもらうことを目的に開催しました。当日は、JA門別産米改良協会が、A定食（280食）とサンプル米（2合/280食）の125kgを提供し、271名が試食しました。実際に、農業者が試食した方にサンプル米を手渡し「馬舞米」をPRしました。じかに「美味しい」という生の声を聞く機会となり、良食味生産の励みにつながりました。



馬舞米をPRする農業者
(アンケートと交換でサンプル米を提供)



A定食：コロッケ（一番人気）
「ななつぼし」271食を提供



食堂運営会社シダックスただの店長
と記念撮影し試食会を終えました。

職員の異動がありました 令和4年4月1日付け

<よろしくお願ひします>

本 所			西部支所		
役 職	氏 名	前任地	役 職	氏 名	前任地
所長	北島 潤	後志本所	支所長	田口 章一	南留萌支所
主任普及指導員	佐々木 近義	空知本所	主査(地域支援)	三宅 陽	東胆振支所
地域第一係長	吉岡 千夜	渡島本所	主査(園芸)	南辻 牧子	石狩本所
主査(畜産)	植村 哲史	遠軽支所	普及職員	北本 美保	新規作用
普及職員	古山 由実佳	新規採用(2/1付)	普及職員	笹村 星夜	新規採用

<お世話になりました>

本 所			西部支所		
役 職	氏 名	転出先	役 職	氏 名	転出先
所長	宮町 良治	後志本所	支所長	渡邊 博司	留萌本所
主任普及指導員	太田 浩太郎	宗谷本所	主査(地域支援)	中島 勇二	定年退職
地域第一係長	伊藤 貴人	渡島本所	主査(園芸)	平田 修一	檜山本所
主査(畜産)	谷 英雄	上川北部支所	専門主任	福原 比奈子	東胆振支所
専門主任	嵯峨 奈々子	定年退職	普及職員	宮崎 駿	退職
普及指導員	柴村 大輝	上川本所			

日高農業改良普及センター本所 TEL 0146-42-1489 FAX 0146-42-2521
〒056-0005 日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目2番10号

日高農業改良普及センター日高西部支所 TEL 01457-2-2055 FAX 01457-2-2918
〒055-0107 沙流郡平取町本町105-6

日高農業改良普及センターホームページアドレス <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/>